

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 4 月 10 日 (2014.4.10)

【公開番号】特開 2012-164884 (P2012-164884A)
 【公開日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-034
 【出願番号】特願 2011-25312 (P2011-25312)
 【国際特許分類】

H 0 5 K 9/00 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 9/00 V

G 0 9 F 9/00 3 1 3

G 0 9 F 9/00 3 0 9 A

B 3 2 B 27/36 1 0 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 2 月 7 日 (2014.2.7)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

P E T 基材層と、

前記 P E T 基材層の一方の面上に設けられた、導電性ペーストインキのにじみを防止するためのインキ受容層と、

前記インキ受容層の上に格子状に設けられた、電磁波シールドメッシュ層と、

前記電磁波シールドメッシュ層を覆うように、前記インキ受容層の上に設けられた機能層とを備え、

前記機能層には、これを貫通して、前記電磁波シールドメッシュ層の一部を露出させる、アースを取るための貫通孔が設けられている電磁波シールド材。

【請求項 2】

前記機能層は、ハードコート機能層、反射防止機能層、防眩性機能層、帯電防止機能層のうち、少なくとも一つの機能層である、請求項 1 に記載の電磁波シールド材。

【請求項 3】

前記貫通孔は、縦又は横に並んで複数個設けられる、請求項 1 又は 2 に記載の電磁波シールド材。

【請求項 4】

前記貫通孔は、レーザで穿孔されている、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の電磁波シールド材。

【請求項 5】

前記基材層の膜厚は、当該電磁波シールド材がロール状に巻き取られ得る厚さにされている、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の電磁波シールド材。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の電磁波シールド材を装着してなるプラズマディスプレイパネル。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

本発明に係る電磁波シールド材は、ＰＥＴ基材層と、上記ＰＥＴ基材層の一方の面上に設けられた、導電性ペーストインキのにじみを防止するためのインキ受容層と、上記インキ受容層の上に格子状に設けられた、電磁波シールドメッシュ層と、上記電磁波シールドメッシュ層を覆うように、上記インキ受容層の上に設けられた機能層とを備える。上記機能層には、これを貫通して、上記電磁波シールドメッシュ層の一部を露出させる、アースを取るための貫通孔が設けられている。